

電機・情報ユニオン

2021年10月10日 第121号

発行 電機・情報ユニオン

〒142-0043 東京都品川区二葉

2-20-8染野ビル2F

Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324

Email: denkiunion@gmail.com

10年間の運動の成果を糧にして 第11回定期大会 産業別労働組合運動をいっそう前進させよう



米田 徳治
中央執行委員長

64万人リストラに反撃し、雇用と地域経済を守ろう！職場に自由と民主主義の確立を！。電機・情報ユニオンは9月19日(日)、第11回定期大会を53人の参加で開催しました。

本大会は新型コロナウイルス感染防止のため、大会会場の東京労働会館ラパスホールに24人(大会代議員、大会役員、来賓、傍聴者)が出席し、大阪支部、茨城支部、群馬支部、愛知支部の大会代議員、大会役員らの29人がオンラインで参加する運営で行われました。

10年間の成果を共有し 人権が尊重される職場を

委員長あいさつを行った米田徳治中央執行委員長は、第11回大会議案書を作成した後、菅政権が政権を投げ出す事態が起こっていること、安部政権・菅政権の9年間は戦後労働法制の大改革と電機産業の大リストラとのたたかひの連続であったこと、日立に始まった春闘での企業内労組の賃下げ要求がNEC、沖電気、富士通に広まっていること、コロナ禍のテレワークにおいて、勤務時間申告やセキユリティなどで不正が広がってきていること、外務省が人権パンフ「誰一人取り残さない社会に向けてビジネスと人権」を発行したこと、朝日新聞の連載記事のリストラに負けないに日立関連NEC関連の組合員のたたかひが掲載されたことなどを報告し、「労働者の生活を向上させることが労働組合の重要な役割。これまでの10年間のたたかひで多くの成果を勝ち取ってきた。その取り組みと成果を共有し、安心して働き人権が尊重される職場をつくっていきましょう」と呼びかけました。



東京地評
井澤 智 事務局長

市民と野党の共闘で 政権交代を実現しよう

東京地評の井澤智事務局長は、この10年間は、国民

は貧しく大企業が富む格差拡大の政治が行われてきたこと、7月の都議会選挙において、「オリンピックよ、おれもコロナ対策」などを掲げて市民と野党の共闘を前進させる立場で取り組んだことを報告し、「来る総選挙を組合員の要求にもとづいて組合員一人ひとりに考えてもらい、日本の将来を決める政権選択の選挙にしていこう」と呼びかけました。

神奈川労連の山田浩文事務局長は、8月の横浜市長選挙においてカジノ誘致ストゥップ、コロナ対策拡充への転換を掲げた市民と野党の共同候補を勝利させた取り組み、JFEの高炉休止・リストラ問題で川崎市が雇用対策本部を設置する姿勢を示したことを報告し、「仲間を増やし、組織的にも前進を勝ち取っていきましょう」と呼びかけました。

電機労働者懇談会の今井



神奈川労連
山田 浩文 事務局長

第121号の紹介

1面 ~ 4面

第11回定期大会

4面 告知板、あとがき

森英一書記長は、活動報告、情勢、運動方針案を第11回定期大会議案書にそって簡潔に提案しました。(2面に続きます)

コロナ禍でも 運動と成果は前進

組合員のみならずも電機懇、企業懇、地域懇の活動に参加してもらいたい」と訴えました。



電機労働者懇談会
今井 節生 代表

(1面からの続き)

活動報告では、新型コロナウイルス危機のもとで、各種集会の開催中止、宣伝行動の自粛などの困難さも発生したが、リモート会議を活用した機関会議の開催を維持して諸活動を展開してきたこと、産業別労働組合としての活動は第10回電機業界団体要請行動、第7回共同省庁要請行動などに取り組んだこと、組合員の要求実現では、労働局の活用、団体交渉の実施、門前宣伝、株主総会行動、春闘要求書提出などを取り組み再雇用の労働条件闘争で大きな成果を勝ち取ったこと、組織拡大では後退した状況となつていること、三菱電機の派遣切り争議と職場のたたかいが大きく前進したこと、日立や東芝などのリストラ反対闘争は継続して取り組んできたことなど、この1年間の取組み・成果・教訓を報告しました。合わせて、結成から10年間の取組みと成果を報告しました。

電機労働者を取り巻く情勢は、菅首相の政権投げ出しによる後継内閣は安部・菅直系政治が濃厚なことを指摘し、グローバルな経済

大会での発言

愛知支部代議員

三菱電機パワハラとのたたかい

東京支部代議員

NECリストラを経験して

中央執行委員

ルネサスの企業文化の強制と効率化経営

東京支部代議員

メンタルヘルスによる休職と復職の取組み

東京支部代議員

ルネサスの危険な経営から労働者を守るたたかい

大阪支部代議員 澤田 健治さん

NEC見せしめ懲戒解雇争議をたたかって

神奈川支部代議員 伊草 貴大さん

裁判闘争も終盤戦、NECは争議の早期解決をせよ

東京支部代議員

富士通キャリア開発室・追い出し部屋での人権侵害の告発と再雇用条件の向上を求める運動

大阪支部代議員

パナソニックの再雇用制度と是正の取組み

茨城支部代議員 堀 啓一さん

この一年の活動をバネにして茨城支部の前進を

東京支部代議員

退職勧奨からの会社売却を経験して

群馬支部代議員 平井 盛博さん

労働者犠牲の利益追求の沖電気に対する闘い

神奈川支部代議員

低評価、低賃金、通勤車利用をめぐるたたかい

神奈川支部代議員

人権侵害の「追い出し部屋」撤廃をめざして

東京支部代議員

テレワーク下でのコンプライアンス違反が広がる

日立関連

東京支部代議員

富士通での処遇是正の3つのたたかい

東京支部代議員

会社との協議を活用し、実効するための課題

愛知支部傍聴

情報発信を工夫し仲間を増やそう

茨城支部 馬場 豊彦さん

茨城県における日立リストラの実態とたたかい



議案を提案する
森 英一 書記長

状況や労働状況などを議案に掲載した豊富な表やグラフで読み取り、大きな視点でとらえ、議案に示した国際労働基準をしっかりと学びながら、情勢論を身につけることを強調しました。

運動方針案は、この10年間に培ってきた運動や組織運営をさらに発展させたも

ので、現職組合員の活動を豊かに前進させる内容を強め、国際労働基準に基づく産業別労働組合運動をいっそう推進すること、電機産業の大リストラとのたたかいを強め、活動参加を促進することを提案し、「本部と支部は、FBやTwitterなどのSNSを活用した情報の拡散に挑戦しよう」「結成10周年をステップとして、大きく組合員を拡大させよう」と呼びかけました。

職場のたたかいを 活き活きと発言

討論では、19名(代議員16名、役員1名、傍聴2名)が発言しました(左表)。

愛知支部の代議員は、上司と取引会社の癒着を告発したら、酷いパワハラを受けて「追い出し部屋」に入られて休職に追い込まれたこと、内部通報や弁護士や労働団体へ相談したが相手にされずに、電機・情報ユニオンにたどり着いて、厚労省記者会見で会社のパワハラや隠蔽体質を世間に訴えかけることができ、団体交渉を行っていることを

報告し、「団体交渉を重ねるとともに、三菱電機の体質改善を訴えていきます」と決意を述べました。

東京支部代議員は、2012年のNEC1万人リストラでの退職強要とその後のパワハラをはね返した経験を報告し、「今までの経験を生かし、現場で眼を光らせ同じ目にあっている人を救いたい」と述べました。

中央執行委員は、ルネサスが今年から強行している

(3面に続きます)